

事務事業名	地域公民館芸能発表会事業				担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-7151		
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成元 年度～）		
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	3.公民館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	<p>市内地域公民館を対象として、市民の地域文化への理解と地域芸能の伝承を図り、地域の連帯感の強化及び郷土愛を育むため、平成元年から本事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真岡市教育委員会と市地域公民館連絡協議会の共催事業として実施 ・事業費は、市地域公民館連絡協議会の予算から支出 ・内容は、伝統芸能(八社五社・口説音頭、仲ノ宿田植唄)、踊り(四ツ健康おどり、フラダンス)、大正琴、お囃子等 							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
23年度実績 24館参加(二宮文化会館で実施：震災のため規模縮小) ・参加依頼文書と参加申込書送付 ・参加申込受付 ・代表者会議の開催 ・リハーサル及び舞台関係打合せ（4日間） ・招待状送付 ・プログラム作成 ・会場準備 ・当日の運営 24年度計画 23年度と同じ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 参加公民館数</td> <td>館</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>イ 会議の開催回数</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	ア 参加公民館数	館	39	32	33	24	24	イ 会議の開催回数	回	4	5	5	5	5	ウ							エ							オ						
名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)																																												
ア 参加公民館数	館	39	32	33	24	24																																												
イ 会議の開催回数	回	4	5	5	5	5																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
地域公民館		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 地域公民館数</td> <td>館</td> <td>108</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	ア 地域公民館数	館	108	166	166	166	166	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)																																												
ア 地域公民館数	館	108	166	166	166	166																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
地域文化の振興と地域づくり		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 芸能活動をしている地域公民館数</td> <td>館</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>イ 出演者数</td> <td>人</td> <td>516</td> <td>464</td> <td>485</td> <td>349</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	ア 芸能活動をしている地域公民館数	館	39	32	33	24	24	イ 出演者数	人	516	464	485	349	350	ウ							エ							オ						
名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)																																												
ア 芸能活動をしている地域公民館数	館	39	32	33	24	24																																												
イ 出演者数	人	516	464	485	349	350																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
地域芸能を後世に残し、市民の地域文化への理解と各地域の交流と郷土愛及び連帯感を育成する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>20年度(実績)</th> <th>21年度(実績)</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 地域芸能が活性化された公民館数</td> <td>館</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>イ 発表会観覧のために入場した市民数</td> <td>人</td> <td>740</td> <td>670</td> <td>745</td> <td>528</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	ア 地域芸能が活性化された公民館数	館	39	32	33	24	24	イ 発表会観覧のために入場した市民数	人	740	670	745	528	530	ウ							エ							オ						
名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)																																												
ア 地域芸能が活性化された公民館数	館	39	32	33	24	24																																												
イ 発表会観覧のために入場した市民数	人	740	670	745	528	530																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)																																											
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0																																											
		国庫支出金	千円	0	0	0	0																																											
		県支出金	千円	0	0	0	0																																											
		地方債	千円	0	0	0	0																																											
		その他	千円	0	0	0	0																																											
	一般財源	千円	200	200	200	200																																												
	事業費計(A)	千円	200	200	200	200																																												
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1																																											
		延べ業務時間	時間	200	200	20	20																																											
		人件費計(B)	千円	836	811	85	85																																											
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,036	1,011	285	285																																												

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	以前は、市民のど自慢大会を実施していたが、第10回をもって廃止した。その際、市地域公民館連絡協議会より地域芸能の発表の場を設け、市民の地域文化への理解と地域芸能の伝承を図り、地域の連帯感、郷土愛を育み、地域公民館の活性化を図りたいとの要望があったため実施。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	参加団体の中には、子どもが参加している団体もあり、地域芸能の伝承が図られている。また、当初は、小中学生の参加も多く、地域芸能の後継者づくりが進んでおり、地域芸能を伝承する気運が一時高まったが、ここ数年前より趣味の発表会になりつつある。また、参加団体は、ほとんど固定化している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加者は、1年間の練習の発表の場があるので、大変喜んでいるが、一般市民の入場が少なく、観客の増加を図る必要がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域芸能の伝承という点では、成果が上がっている。また、1団体当たりの参加人数が多いので地域の親睦・連帯感にも貢献しており、地域の活性化にも結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域芸能の伝承、地域の連帯感づくりは必要であり、地域づくりに繋がる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地域公民館を対象に文化の振興を図っている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 発表の場がなくなる。地域芸能の継承意識が薄れる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業にかかる、最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 市地域公民館連絡協議会の役員の協力を得ながら、必要最低限の人員で実施しているので、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域公民館全館(166館)が対象になっており、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							